

～向島ニュータウン再生・向島地域の活性化～
「人の力で、まちはかえられる」

向島まちづくり通信 第13号

平成30年12月20日発行

中文版，請看下面的網址。 <http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000199646.html>

10月28日に開催された「向島まつり2018」に ニュータウン内外から過去最多の3千人を超える参加者

「向島まつり2018」（同実行委員会主催）が10月28日（日）、向島ニュータウンセンター広場で開催され3千人を超える人たちの参加がありました。終了まぎわには門川大作京都市長も会場を訪れ、参加者を激励しました。

「向島まつり」は、昨年4月に「向島まちづくりビジョン推進会議」が発足したのを機に、向島ニュータウンの住民や事業者とともに、向島学区、向島南学区からも有志の参加を得て実行委員会を結成。向島地域全体のまつりとして企画されました。

今回のまつりでは、「中嶋農園」や「健幸プラス」などのグループ「むかいしますまるシェ」が独自に案内チラシを作成し、宇治市など周辺地域に配布。向島ニュータウン外からも多くの参加がありました。

会場には、「健康チェックコーナー」「朝採り新鮮野菜市」「子どもの遊びコーナー」「ごみ分別コーナー」などとともに、数々の模擬店が並びました。

舞台は、京都すばる高校吹奏楽部のマーチングと演奏でオープニング。向島、向島東、榎島各中学校吹奏楽部、向島二の丸小学校金管バンドの演奏や、京都文教大学学生のよさこいソーラン、子どもたちのダンスや和太鼓演奏などに声援が寄せられました。午後には、ミスユニバース京都代表や2018年ミス京都も参加、「まつり」を盛り上げました。

インラインスケートや本場インドの講師によるヨガ教室も行われ、親子づれや、若者の参加も目立ちました。



10月28日（日）開催された「向島まつり2018」。 ※これらの写真は了解を得て「向島まつり」ホームページより転載したものです。

向島中央公園リフレッシュ事業の第2期工事はじまる

昨年度行われた第1期工事では、見通しの良い明るい公園にするために間伐や剪定が行われ、新たにサクラやモミジなどが植樹されました。

12月中旬から来年3月まで行われる第2期工事では、①根上がりや剥離（はくり）がみられる遊歩道（主園路）の舗装を改修します。舗装は透水性のものになり、水たまりや水はねの軽減をはかります。②自然色舗装のサブ園路では根上がり部分の補修が行われ、歩きやすくなります。③土舗装のサブ園路では、ぬか

るみ防止剤を混合した土が補充され、舗装厚と水はけが改善されます。

あわせて、電動車いすの通行できない車止めの幅の拡張なども行われます。工事中は、部分的に遊歩道が通行止めになりますのでご注意ください。



▲昨年度の第1期リフレッシュ工事を終えた向島中央公園

向島学生センターで、入居者同士の交流を深める 「Welcome Party (ウエルカム・パーティー)」開催

国道24号線の東側「向島東公園」の南に建つ「向島学生センター」は、京都市住宅供給公社が運営する留学生・研究者及び日本人学生のための賃貸住宅です。

現在「向島学生センター」には世界30カ国以上の留学生・研究者とその家族、日本人学生合わせて約220世帯が居住しており、通訳を含む事務室スタッフが配置されています。

「向島学生センター」に入居できるのは、①大学等に在籍し、大学等の推薦を受けることのできる留学生及び研究者とその家族 ②公共または大学関係機関で教育・研究に従事し、所属機関の推薦を受けることのできる人 ③大学等に在籍する日本人学生及び研究者です。

入居は、在籍する大学又は機関を通じて、所定の申込書によって申し込むことが必要です。京都市住宅供給公社の方にお聞きしたところ、「これほどの規模を持つ外国人留学生のための居住施設は京都市内には『向島学生センター』の他にない」とのことでした。

10月19日（金）午後6時30分から、「向島学生センター」主催の「Welcome Party」が学生センターに併設するセミナーハウス2階で行われました。

これには、「向島学生センター」に居住する留学生や研究者とその家族、日本人学生とともに、今年4月セミナーハウスの3階に開校したインド式教育インターナショナルスクール「チャンドラ・セカール・アカデミー・インターナショナルスクール京都校」の関係者や、地元向島藤ノ木学区の自治会関係者等、留学生の交流を支援する京都文教大学の教員や学生、愛隣館の職員、企業関係者も参加して、音楽の演奏などを交え、交流を深めました。



▲10月19日（金）セミナーハウスで行われた「Welcome Party」

来年4月の開校めざし、建設が進む「向島秀蓮小中学校」

「京都市立向島秀蓮（しゅうれん）小中学校」の校舎の建設が来年4月開校をめざして、元二の丸北小学校敷地で進んでいます。「向島秀蓮小中学校」は、向島中学校、向島南小学校、向島二の丸小学校、二の丸北小学校の4校が、9年間の小中学校一体型「義務教育学校」として誕生します。

小学校6年・中学校3年制に代わり、「4-3-2」の



▲建設がすすむ「向島秀蓮小中学校」の校舎（2018年11月23日撮影）

ステージ制が導入され、1人の校長のもとで9年間を通して小中学生がともに学ぶ一貫教育校になります。そのため6年生での卒業式はなくなり、1年生から9年生と呼ばれます。1年生～4年生は「ベーシックステージ（基礎習得期）」で、学級担任制がとられ1年生から英語教育が行われます。5年生～7年生は「チームステージ（活用充実期）」で、50分授業が導入され、部分的に教科担任制となります。8年生・9年生は「ビジョンステージ（発展創造期）」で、全面的に教科担任制となります。学校給食は1年生から9年生まで全員が自校調理給食となります。

施設面では、大・小2つの体育館が水害時における避難所利用を想定して3階に配置され、屋外プール用水の災害時利用、非常用発電機の設置などの防災機能を備えます。

「向島秀蓮」の校名は、「蓮（はす）の名所であった巨椋（おぐら）池や向島城などの地域の歴史も踏まえて名付けられました。

福祉施設を併設した宇治市の公営住宅を視察しました →向島ニュータウンでも、賃貸住宅空室への福祉施設誘致の検討を→

厚生労働省と国土交通省は平成14（2002）年に「100戸以上の公営賃貸住宅には原則として福祉施設等を合築併設する」方針、その後「既存賃貸団地の空地、空施設を活用した福祉サービス拠点の整備」をすすめる方針を出しました。

向島ニュータウンの市営住宅やUR住宅（6街区）の空室などに、福祉施設を誘致できないかどうかの参考にするため、向島まちづくりビジョン推進会議「暮らし・安心ワーキンググループ」のメンバーは、9月7日（金）福祉施設を併設した宇治市の公営住宅2ヶ所を視察しました。

1ヶ所目は、黄檗市営住宅に併設されているグループホーム「なかまの家 おうばくホーム」です。宇治市は国の方針を受けて、黄檗市営住宅の建て替えにあたり4棟にグループホームをつくる計画をたて、平成21（2009）年に公募。黄檗市営住宅の1階2軒分のスペースに、宇治東福祉会が運営する「おうばくホーム」が賃貸で入居しました。



▲おうばくホーム



▲なごみりあ横島



▲なごみりあ横島

「おうばくホーム」には、11㎡ほどの利用者居室が6部屋と世話人居室が1部屋、54㎡の共用リビング、浴室、台所、車イス用トイレや洗面所があり、入居者の負担は家賃と食費、光熱費で月4万2千5百円。入居者には車イスの方が数人おられ、男性スタッフが介助にあたり、女性スタッフが食事の用意を担当。施設はオール電化なので火が出るものは一切ないとのことでした。

視察の2ヶ所目は、平成26（2014）年から入居がはじまった府営住宅横島大川原団地「なごみりあ横島」です。「なごみりあ横島」は、当初から福祉施設等を一体的に整備・活用する団地として計画され、現在、認知症高齢者グループホーム（定員18名）、知的障害者グループホーム（定員8名）、小規模多機能型居宅介護等の施設が入居しています。

今回の視察に参加した方からは、「向島ニュータウンの賃貸住宅空室への福祉施設誘致についても検討して欲しい」との声が出ていました。

市営住宅1街区集会所トイレのリニューアルが実現

1街区自治会と向島駅前まちづくり協議会は、平成28（2016）年12月から「高齢者や障がい者など誰もが気楽に立ち寄れる拠点をつくるために市営住宅集会所のリニューアルをすすめる検討会」を続け、翌年の1月には「リニューアル構想」をまとめ、京都市都市計画局住宅政策課と京都市住宅供給公社に提出しました。

これに対して京都市から「『構想』は予算的に無理だが、1街区集会所トイレなどのリニューアルはできる」との回答があり、今年11月末集会所トイレのリニューアルが実現しました。

1街区の集会所では毎月第1月曜日のお昼から、向島二ノ丸学区社会福祉協議会主催の「カレー喫茶」が行われており（参加費300円）、毎回50人を超える高齢

者の皆さんの参加があります。今後は車イスの方も安心して「カレー喫茶」に参加できるようになります。

1街区自治会の関係者は、「トイレとともに要望していた、集会所の狭いキッチンのリニューアルについて引きつづき要望していきたい」と話しています。



▲リニューアルされた市営住宅1街区集会所トイレ。
車イスの方も安心して使えるようになりました。

向島まちづくりビジョン平成30年度第3回推進会議が開催されました



11月28日（水）午後、向島学生センターセミナーハウスにて、傍聴者含め約50名が出席し、第3回推進会議が開催されました。

主な議題として、向島二の丸小学校跡地の活用について、提案いただいているあしなが育英会から玉井会長、岡崎氏が出席し、新たな教育施設の構想（「志塾（こころざしじゅく）」「心塾（こころじゅく）」）にける想いなどについてお話を伺い、委員からは「大いに歓迎したい」、「地域住民や



子どもたちとの交流、まちづくりとの連携を期待している」、「マスメディアを通じて、向島に建設されることを積極的に発信していただきたい」等の前向きな発言がありました。あしなが育英会からは「それらの期待に応える」との返答があり、推進会議では今後も引き続き、あしなが育英会との意見交換を進めていくことを確認しました。

そのほか、ビジョンによる取組の進捗状況の報告や、向島二の丸小・向島中跡地について、地元住民等による暫定利用に向けた検討状況などについて共有しました。



向島ニュータウンまちづくりビジョンで進む 新たな「まちの変化」中間報告会@二の丸北学区 開催しました！



まちづくりビジョンを策定して約1年半、向島のまちの変化やこれまでの取組について、二の丸北学区の皆さんに知っていただき、今後のまちづくりに参加していただこうと、新たな「まちの変化」中間報告会@二の丸北学区を11月3日に開催しました（9月30日を予定していましたが、台風接近のため延期）。

当日は、2街区の集会所に約50名が参加し、「教育」「賑わい」「やすらぎ」「多文化共生」をテーマに、まちが変わりつつある主な取組として、向島秀蓮小中学校の開校（来年4月）、向島駅前でのマルシェの開催や二トリの開業

まちづくりビジョンを策定して約1年半、向島のまちの変化やこれまでの取組について、二の丸北学区の皆さんに知っていただき、今後のまちづくりに参加していただこうと、新たな「まちの変化」中間報告会@二の丸北学区を11月3日に開催しました（9月30日を予定していましたが、台風接近のため延期）。

（予定）、向島中央公園の再整備、インドインターナショナルスクールの開校（本年4月）、あしなが育英会からの新たな国際的な教育施設の提案について、報告が行われ、参加者からは様々な質問や意見や、今後のまちづくりに参加したいという声もあり、まちづくりの輪が広がる良い機会になりました。今後、他の学区でもこのような場を開催していくことを予定していますので、ぜひお気軽にご参加ください。



取組ワーキンググループ 今後の会合予定

魅力発信・観光・商業地賑わい	1月19日（土）10：00～12：00	向島学生センターセミナーハウス
住環境・防犯	1月22日（火）19：00～20：30	京都文教マイタウン向島（MJ）
暮らし安心	1月12日（土）13：00～15：00	向島学生センターセミナーハウス
子ども・若者支援	1月12日（土）10：00～12：00	向島学生センターセミナーハウス
防災	1月開催予定	未定
向島二の丸小・向島中跡地地元利用検討合同ワーキング	1月19日（土）13：30～15：30	向島学生センターセミナーハウス

※開催予定は各街区・各棟の掲示板、京都文教マイタウン向島（MJ）に定期的に掲示し、お知らせしています。
その他、京都市のホームページにも掲載しています。

発行：向島まちづくりビジョン推進会議

■事務局・問い合わせ先
京都市都市計画局都市企画部都市総務課 担当：池田、齋藤、片山
電話：075-222-3610 ファックス：075-222-3689
メール：toshisomu@city.kyoto.lg.jp

向島の魅力情報・まちづくり情報は
向島まちづくり情報発信ポータルサイト

向島まつり

検索

